

# CASBEE<sup>®</sup> 戸建-新築

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE戸建-新築 (2010年版)

■使用評価ソフト: CASBEE\_DH-NC\_2010v1.2

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	新藤様邸新築工事		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等	確定 確定
竣工年月	2012年12月	竣工		外構の仕様	確定
建設地	埼玉県さいたま市大宮区 桜木町4丁目		〈備考〉		
用途地域	近隣商業地域	確定			
省エネルギー地域区分	IV				
構造・構法	木造在来軸組工法	確定	評価の実施日	2013年6月15日	
階数	2		作成者	小宮 光太	
敷地面積	133 m <sup>2</sup>	確定	確認日	2013年6月15日	
建築面積	65 m <sup>2</sup>	確定	確認者	小宮 光太	
延床面積	129 m <sup>2</sup>				
世帯人数	1	確定			



### 2-1 すまいの環境効率(BEEランク&チャート)

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

BEE=1.0

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

~0%: ☆☆☆☆ ~50%: ☆☆☆☆ ~75%: ☆☆☆ ~100%: ☆☆ 100%超: ☆

戸建標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア= 3.8

**Q1 室内環境を快適・健康・安心にする** Q1のスコア= 4.0

**Q2 長く使い続ける** Q2のスコア= 4.5

**Q3 まちなみ・生態系を豊かにする** Q3のスコア= 2.6

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア= 3.8

**LR1 エネルギーと水を大切に使う** LR1のスコア= 3.9

**LR2 資源を大切に使いゴミを減らす** LR2のスコア= 4.1

**LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する** LR3のスコア= 3.3

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>●周辺も家が建ち並び住宅地の中で出来る省エネで環境負荷を低減した家づくりを目指した ●建築物の取組みにて省CO<sub>2</sub>を図り、残りを創エネの効果によりLCCM住宅を目指した</p>	<p>●建築環境性能を高める様に進める中で、住まい手の意識も向上した</p>
<p><b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b></p> <p>●省エネ等級4の断熱性能 ●日射侵入率0.41遮熱Low-Eの日射遮蔽 ●各居室2方向開口 ●地熱利用のHP/エアコンの適切な冷暖房 ●化学汚染物質、昼光利用、静かさは性能評価書にて証明 ●補助ロク付サッシ、2ロック玄関ドア</p>	<p><b>Q2 長く使い続ける</b></p> <p>●劣化、耐震、耐火、警報、維持管理、高齢者配慮は性能評価書にて証明 ●外壁・屋根共に乾式方法を採用し交換時の配慮 ●定期的な点検補修・追跡調査出来る維持管理体制 ●入居数1名で広さ・収納・設備が充実</p>
<p><b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b></p> <p>●建物を突出せず後退させた ●森林組合と連携した産業構造から産出した木材</p>	<p><b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b></p> <p>●地熱利用「ジオシステム」で高効率の冷暖房・給湯システムを採用 ●断熱外皮の内側に断熱浴槽 ●台所・浴槽に節湯水栓 ●家電・厨房機器の取組み ●省エネナビ採用 ●太陽光発電システム採用で省エネルギー率k値1.19</p>
<p><b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b></p> <p>●構造材のすべてにCOC認証材 ●高炉セメント採用 ●省資源・廃棄物抑制に役立つ内外装材 ●副産物の発生抑制した生産・施工体制 ●住まい手への使用材料情報提供</p>	<p><b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b></p> <p>●ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率0% ●地熱利用「ジオシステム」で騒音・排熱抑制</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (すまいの環境品質), L: Load (すまいの環境負荷), LR: Load Reduction (すまいの環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (すまいの環境効率)  
 ■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE戸建-新築の場合、BEE<sub>H</sub>、Q<sub>H</sub>、LR<sub>H</sub>などとするべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q<sub>2</sub>、LR<sub>1</sub>中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)  
 ■ライフサイクルCO<sub>2</sub>の算定条件等については、マニュアルおよび「CO<sub>2</sub>計算」シートを参照されたい